

学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育部 学校教育推進室 平成 27 年 9 月 3 日
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目 1 番 1 号 TEL06-4309-3268~9

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
 - 総合的視点に立つ教育の推進
 - 人間尊重に徹した人権教育の実践
 - 信頼に応える学校園経営
 - 学校園・家庭・地域の協働

中学校生徒会交流会 (7/9・8/20) が開催されました



生徒会活動の充実を目的に、市立中学校の生徒会メンバーが集まり、「各校の取組み」と「いじめ撲滅に向けて」をテーマに、2回にわたって熱い交流会が行われました。

7月9日に行われた第1回交流会では、各校が1枚の写真を使い、自校の紹介を行いました。その後「いじめ撲滅の取組みについて、小学校と中学校が連携して、どのようなことができるか」というテーマでグループ協議を行い、他校の生徒と活発な意見交流が行われました。



8月20日に行われた第2回交流会では、「よりよい学校を目指して」をテーマに、各校の生徒会が力を入れている取組みを発表しました。あいさつ運動を活発に行っている様子や、地域の方とともに清掃活動を行っている様子、いじめ撲滅に向けて小学校と連携し、自作の劇を作成する計画など、どの学校も自分の学校を良くしていきたいという強い気持ちで、生徒会活動に取り組んでいることが良く伝わる発表でした。



また、生徒会担当の教員から、これまで4年間東大阪市内立中学校生徒会でやってきた「東日本大震災復興支援の募金活動」について、陸前高田市から送られてきた復興状況資料についての報告がありました。生徒会では今年度も近隣校と協力して地域での募金活動を予定しています。

そして最後に、11月に行われる大阪府生徒会サミットの代表校を選出する投票が行われ、今年度は花園中学校が代表校に決定しました。花園中学校には、自校の取組みはもちろんのこと、東大阪市の生徒会交流会の取組みを発信してもらいます。また、東大阪市の生徒会活動の活性化につなげるため、府内の様々な取組みから学んだことを持ち帰って生徒会交流会で報告してもらう予定です。



～いじめ撲滅キャンペーン～

7月7日(火)、東大阪市内の駅や市役所前の8ヵ所で市内全26中学校と日新高等学校の生徒会がいじめ撲滅に向けた啓発活動を行いました。市役所では代表生徒が「東大阪市からいじめを撲滅し、傷つく人が一人でも少なくなるように取組んでいきます」と決意表明しました。それに対して、野田市長からは「いじめをなくそうというみんなの強い気持ちが伝わるように、大きな声を出して頑張ろう」と激励の言葉がかけられました。その他の活動場所でも、生徒たちは「7月はいじめ防止推進月間です」「私たちは、学校からいじめが無くなり、安全に楽しく過ごしたいと思っています」と大きな声で市民の方々へ声をかけていました。



また、小学校と中学校が協力して朝の啓発運動を実施し、登校してくる児童や生徒だけでなく、地域の方々への啓発活動を行った学校もありました。活動後、子どもたちから、「多くの人に自分たちの思いを伝えることができよかったです。これからは学校でいじめをなくして、みんなが明るく過ごしていくことができるように取組んでいきたい」などの感想がありました。



Summer English Village 2015

7月30日、8月4日と5日の3日間にわたり、「夏休み英語村」を市民ふれあいホールで開催しました。この「英語村」は楽しみながら英語漬けの1日を過ごし、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成と学習意欲の向上をねらいとしています。今年は市内9校の中学生が参加しました。異なる学校の生徒で編成した3人程度のグループと1人の*ALTが、単語当てゲームやダンス、劇づくりなどに英語だけで取り組みました。参加生徒はジェスチャーを交えながら英語でコミュニケーションを取ることを楽しんでいました。生徒からは「来年も参加したい。」「今日でさらに英語が好き



になったし、もっと海外にも興味を持ちました。」などの感想が寄せられ、生徒の英語学習意欲の高まりを見ることができました。

*ALT：英語を母語とし、外国語活動や英語の授業を補助する講師



東大阪市の英語行事（中学生対象）

- ・東大阪市英語暗唱大会(6月)
- ・移動英語村(4月～3月)
- ・夏休み英語村(7月～8月)
- ・英語まつり(11月)
- ・英語エッセイコンテスト(12月)

健康教育研修会

東大阪市での食育推進コンセプトである「周知から実践へ」に基づいた各学校園の食育推進に向けて、今年度も7月27日に健康教育・食育担当者である教職員への健康教育研修会を開催しました。

実践報告

玉串幼稚園養護教諭の桑田沙希先生に『楽しく食べて、楽しく学ぶ食育』というテーマで実践報告を行っていただきました。



子どもたち自身が、食べものに興味関心を持ち、朝ごはんの大切さを知り、バランスよく食べる習慣につながる食育指導に熱心に取り組まれています。保健指導では、毎回、子どもたちにとって分かりやすく、自ら学びたくなるような教材を準備され、楽しみながら、繰り返し試して考えられる積み重ねを大事にしているとの事でした。また、保護者へのアンケートからデータを作成し、家庭での子どもの様子、課題発見、保護者の意識を分析することで、園と保護者の気づきを深め、連携を密に図っておられます。小学校との交流も紹介いただき、桑田先生の報告を通して、参加者の先生方には幼・小・中・高での継続した食育指導の取り組みについて考えていただきました。

食に関する指導

後半は、相愛大学 人間発達学部 発達栄養学科の竹山育子先生に『食に関する指導について』ご講演いただきました。大阪府は、食生活と関連が深いがんや心疾患、悪性新生物の死亡率が高く、全国に比べて野菜の摂取量が少なく、朝食欠食率が高い現状について教えていただきました。子どもの頃の食習慣は成人になっても継続していく傾向にあり、食育の担い手の中心にいる教職員の意識、生活習慣を振り返ることの必要性についてもご示唆をいただきました。

